



大阪早稲田倶楽部 NEWS

Wフォーラム

京都の ホンマにうまいもん



Wフォーラムの「あなただけに教えたい・京都のホンマにうまいもん」実習編が昨年12月7日に行われました。

祇園四条南座前に集合した男女11人のグループがフードアナリストの大倉邦雄先輩のご案内で初冬の京都を訪ね歩きました。好天気にも恵まれ、盛会裡に取り行われました。大倉さんには、種々ご高配に興り洵に有難うございました。

祇園甲部歌舞練場から程近い所にある割烹「祇園川上」。

瀟洒な建屋の2階の座敷にテーブルと椅子が並べられ、美味しい料理と大倉さんのお話に至福のひと時を過ごしました。店構えと言い、仲居さんの神経のまわり方と言い、旨い食べもん屋さんとは斯くあるものかなと感嘆した次第です。

長年、先代の大将がお店

に立たれていて、たくさん料理屋さんの息子さん達がこちらのお店で修業された由。

京料理の技術を長年探求されて、その技術は多くの人を魅了し、また多くのお弟子さんが各地に持ち帰り広がっていく、正に日本料理のレベルの底上げを担ったお店の一つだと伺いました。

また板前という、堅苦しいイメージがある京都の日本料理店にあり、料理や設えなどはそのままにお客様との距離が随分と近くにあったのもこのお店の特徴かと思えます。

後日、松たか子さんが出演したNHKスペシャル「和食」おもしろさの謎、世界がうなる究極の味——でも川上が紹介されています。日本の伝統的食文化が世界無形文化遺産として登録されたのを領かせる探訪となりました。

◆もてなしの心

(季節に合わせた器、客をもてなす部屋の設え)

◆四季折々の新鮮な食材

(だし汁、醤油、味噌での調理)

◆寿に繋がる栄養バランス(魚を中心にイモ類・野菜を多く摂る)

◆年中行事とも密接に繋がる(家族・仲間との絆を強める)

今回訪れた「川上」、今は代替わりし、これからのどのように変化していくかが注目される名店です。

会食後は夕暮れ近くまで大倉さんの道案内で裏通りに点在する名店を見て廻りました。いただいたグルメマップを頼りに四季折々の京都を散策してみたくになりました。

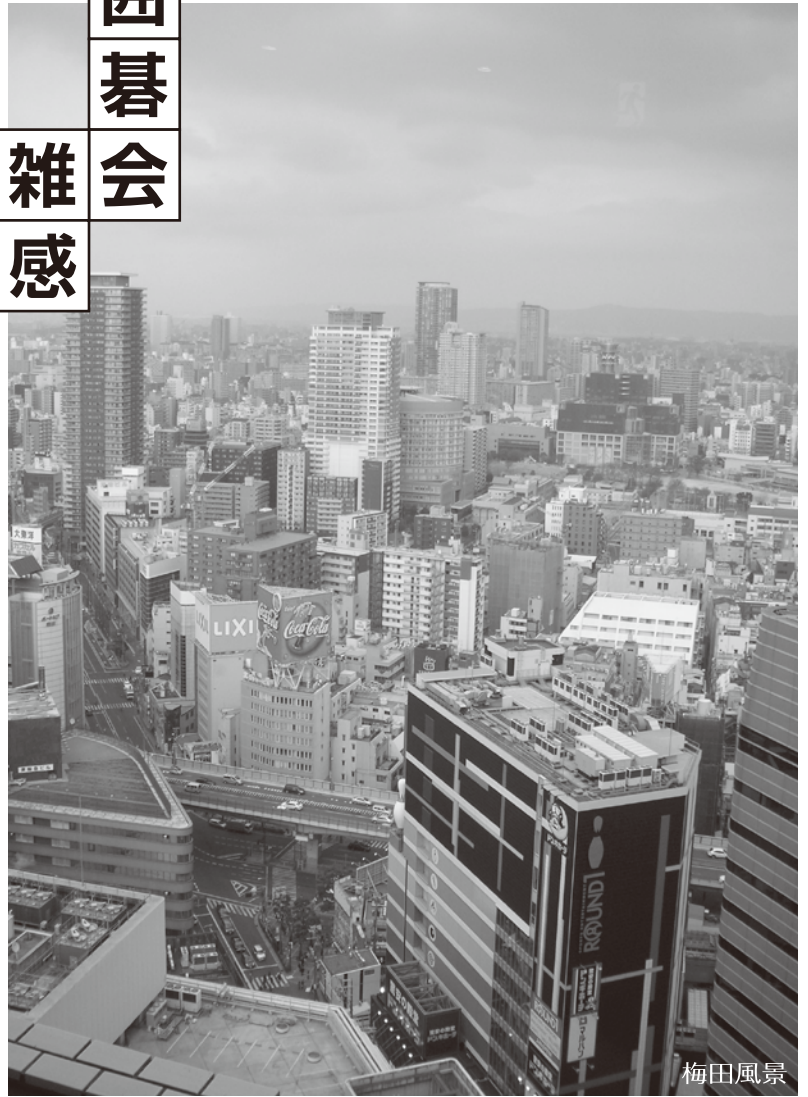
山元唯光(昭59年政経)



早稲田倶楽部祭 & 新人歓迎会

- 日時：2014年4月12日(土)12:15~14:15
- 場所：K K R ホテル大阪(大阪市中央区馬場町2-24)
JR大阪環状線・地下鉄「森ノ宮」駅下車徒歩10分
- 会費：6,000円(会員家族3,000円)
※2013年11月以降の新入会員および13年5月~10月の新入会員で新人歓迎会への未出席者は無料
- 申し込み：4月7日(月)までに倶楽部事務局へ。先着80人
- < 会の終了後、大阪城公園の中にある「早稲田の森」へ出向き、花見会を催します >

囲碁 雑感



梅田風景

第1と第3土曜日の10時頃から。阪急グラウンドビル19階の関西文化サロンで囲碁例会が始まる。西に面した例会場に少し早く着き、コーヒーを頂きながら、刻々と変貌する大阪駅前周辺、そして淀川河口から六甲連山を眺め、碁敵のお出ましを待つのもいい時間だったが、阪急百貨店の大増改築で今、目にするのは壁ばかりとなった。

倶楽部室が阪急芝田町ビルにあった30年少し前、入会し登録した囲碁部会には、30数名の会員がおられ、部室の各テーブルの中棚には10組ほどの碁盤が納まつていた。当時は第2と第4土曜日の午後が例会で、年に2回、今も続いている新春と納涼の囲碁大会がA組とB組に分かれて行われていた。初段の私には四段以上のA組の先輩方は雲の

上の人とも思えたものだった。

諸先輩の教えよろしく、次の大会でのA組への昇格を期待し始めていた頃、時々他部の例会と重なる日があった。「今日は英会話教室がありますから、皆様お静かにお願いますね。」と事務局の関谷さんから「ご注意があるが、」浜の真砂は尽きるとも、碁に間違いの種は尽きまじ。」と言われ、「アッ

と言ったが、この世の終わりに。」で、思わず声が上がると、「囲碁の方！お静かに！」と叱声が飛んできた。

囲碁部重鎮の奥村さんが先生をしていた陶芸教室の時は勿論何も言われなかった。そんな折、「今や倶楽部室は碁会所となつている。嘆かわしい限りだ。」と、批判の声が事務局に寄せられたことがあった。平日も有志が少なからず碁盤を囲んでおられたように、思えば、お茶菓子付の居心地の良い無料碁会所と言えなくもなかった。

その後、経費節減とまで芝田町ビルの西隣に倶楽部室が移った。囲碁部会もしばらくそこで開かれたが、何せ手狭で通路も薄暗い。一つ階段を上上がった共同の男子トイレで「なあ小野君、ここに来ると情けない気がせんか？」と山岡先輩が言った。それから間もなく諸先輩のご配慮があり、現在の例会場に碁石と盤をまとめ

て運び込んだ。

さて、3〜4年前より会員の減少傾向が見られたものの、この1〜2年の間に久松氏（早稲田囲碁部）や岡田さん（女性）を含め4名の参加を得、有難く思っている現況だ。

例会場は禁煙の個室で、気兼ねなく碁を打つことが出来る。東に生駒山を望むラウンジで、質量とも十分にしんぞば（コーヒー付、千円程）などの昼食も楽しんでる。囲碁を打つ事は脳と指先の活性化に良いだけでなく、少なくとも退屈という言葉が無くなる。腕に

覚えのある方、また無い方も、是非入会のご二報を頂ける事と共に、療養中の若月部会長のご復帰を願う次第です。ところで、少し前になるが御多忙な角前会長が、私もたまに先（セン）相手の技量が少し上（）でお相手している正岡徹先生（元骨髓移植推進財団等理事長）との互先（タガイセン・互角）での対局を囲碁誌梁山泊で拝見した。

前会長がにこやかに囲碁例会に来られる日を部員同お待ちしているとこそです。

副部長小野雄二郎（昭46年文）



校友会新支部長に吉川一三氏

校友会大阪府支部は昨年11月15日、大阪新阪急ホテルで総会を開き、吉川一三氏（昭45年商、住江織物代表取締役社長）を支部長に選んだ。任期は2年。



第43回食へ歩き会

美味 ぼたん鍋を食す



秋らしく爽やかで優しい光が印象的な天気で、23名の参加者が集い、大阪を出発。食へ歩きの旅は11月9日。バスに乗り目的地の篠山に向かう。ぼたん鍋ということ、車内で猪を交えたユーモアあふれる自己紹介が行われる。毎回、自己紹介は場の雰囲気を一気に明るくさせる。そういえば、ぼたん鍋というのは猪のことだったと今更ながら意識する。食材も場所も大事ではあるが、食へ歩き企画はいつも期待を裏切らないので安心して参加できる。

道中では北原仁巳先輩に伊丹や名塩などのその土地に関する解説をして頂く。今回も、その造詣の深さにいつも驚きながら学ばせて頂く。篠山城跡を見学。爽やかな天気で眺めも良く、気持ち良く歴史に触れたところで、目的地の「近又」に到着。「近又」は四百年も続く老舗。純和風の建物で落ち着くこの雰囲気は、早くも参加して良かったという気にさせる。因みに、近又というのは近江屋又兵衛からきており、当主は代々その名

前を受け継いでおり、現在は十四代目とのこと。

私自身、猪は初めてで、何のイメージも持たずに参加したが、いいイメージを持っていない人も多いようである。実にもったいない。初めて知ったことであるが、ぼたん鍋の猪肉は、最初に入れ15分程たつてから食べるとのこと。肉が柔らかくなり、出汁にも肉の旨味がしみこんで美味しくなるとのこと。野菜を食べながら待つこと15分。ようやく肉にありつく。

話の通り、柔らかく出汁もおいしく、あっさりしており、食がすすむ。気付けば満腹。今回の企画も大満足。さすがに厳選された場所だけのことはある。帰りの道中で、元宝塚の小山清美さんにサプライズで美声を披露して頂く。

天気も良く、歴史に触れ、雰囲気も素晴らしい、おいしい料理を食べ、ワイワイガヤガヤと歓談し、今回は美声も聞け、参加して良かったと素直に思える食へ歩きだった。年代を問わず楽しめるのが食へ歩きの良さ。

何度も参加しているが、いつも満足して良い休日を通している。43回目回数を重ねているのは伊達ではない。

藤本竜太(平12年教育)

新年会&文楽鑑賞 華やかに

大阪早稲田倶楽部と校友会大阪府支部共催の新年会が1月11日、大阪・上本町のシエラトン都ホテル大阪で開催され、これまでで最多の110人が出席した。

冒頭、昨年11月の校友会支部総会で新たに支部長に選任された吉川一三氏(昭45年商)が「多くの方の出席は喜ばしいことで大早稲田倶楽部ともども今年も親睦を深めていきましょう」と挨拶。人見亨、倶楽部会長(昭45年理工)の音頭で乾杯した。

晴れ着姿の女性もあり、会場は華やかなムードに包まれ、歓談の輪が広がった。また、関西アコデーオン協会の杉村寿治さん(特別賛助会員)によるアコデーオン演奏が新春のムードを盛り上げた。

野村公平・倶楽部理事長(昭47年法)の中締め挨拶に続いて校歌斉唱があり、和田浩孝・倶楽部事務局長(平1教育)の迫力あるリードに大きな拍手が送られた。

新年会に先立ち、新春恒例の文楽鑑賞の集いが日本橋の国立文楽劇場で開かれ、こちらにも100人が参加。新春公演を楽

しんだ。

また、稲門向けに素浄瑠璃、三味線の解説会が特別に用意された。文楽に登場する人物の声色や笑い方の違い、さらに情景に応じた三味線の音色などを語り大夫である豊竹芳穂大夫さんと三味線の豊澤龍爾さんが実演。参加した人は悪役の笑う様子を一緒に演じてみる体験をし、わかりやすく楽しい解説と実演が人気を集めた。



てくてくハイキング



京都紅葉ウォーク



錦秋を満喫する紅葉ウォークは春の花見ウォークと並び「てくてくハイキング」のメインイベントです。

昨年11月23日、14人が参加しました。冷え込みで綺麗に紅葉し、それが快晴に恵まれて見事な紅葉と黄葉の色合いを楽しむことができました。山に行かなくても京都は寺院で見事な紅葉を楽しめますので、京都市街北西部の鷹峰から中心部に向かって、源光庵・光悦寺

今宮神社・大徳寺・船岡山を巡りました。

観光シーズンのため満員のバスに揺られて鷹峰着。源光庵の境内には大きな木が綺麗に紅葉しており、集合写真を撮りたくても人混みでそんな余裕はありません。庭園に入っても見物するのもよいのですが、ウォーキングなので時間の余裕がないために庭園はパス。

光悦寺は参道に小ぶりの力エダが並び源光庵とは違った趣でした。

本阿弥光悦のお寺だけあって鐘楼の屋根が萱葺きなのが珍しく感じました。観光客は光悦寺までで、紙屋川に沿った道は静かな散策路となり点在する紅葉を楽しむながら歩きました。途中にある「お土居」の史跡は小さな丘となっており、ベンチも設置されており休憩に適しているので昼食を取りました。お土居は豊臣秀吉が築いた京都を囲む土塁で、こんな大きな土塁を総延長22・5kmも築くのは大工事だったでしょう。

佛教大学の立派な校舎を横に見ながら進んで今宮神社着。

今宮神社は由緒のあるお宮さんで、境内は広く参拝した後で集合写真を撮りました。花見のソメイヨシノはモノクロ写真でも見えませんが、紅葉はカラーでないとその様子が見えないのは残念です。実際に歩いて見てもうしこのお宮さんはあぶり餅が名物と京都在住の金岡さんが教えて下さったので、行ってみました。が混んでいるために焼けるのに20分待ちなので諦めました。大徳寺はご承知の様に大規模な寺院で多数の塔頭があり、公開されているのは少ないので門から中を見て楽しみました。

最後の船岡山は市街地にボツンとある丘で見晴しは最高です。比叡山と東山が一望で五山の送り火の3つの火床も見えました。歩いた後は温泉です。今回は近くの有形文化財となつている船岡温泉で、脱衣場の天井と欄間に見事な彫刻があります。その理由は元は料理旅館の風呂場だったので、いつものスーパ一温泉とは違った趣があります。

地下鉄で三条まで戻り、珉珉三条大橋店で懇親会。天候に恵まれた楽しい紅葉めぐりでした。

時枝奉之
(昭45年院・理工研)



プロに学ぶ話し方

倶楽部の女子会・ワセジョの企画第2弾は「話し方セミナー」で、昨年10月27日に開催しました。

講師はNHKアナウンサーの荒木美和さん(平15年人間科学)というこゝとで、予想外の人気となり、種田ゆみこ先輩の会社の会議室をお借りした会場に、隙間なく椅子を並べての開催となりました。

さすがプロの荒木さんは終始にこやかに会場を盛り上げて下さいました。全員参加で2分間スピーチのワークも実践したあとは、中之島倶楽部にて懇親会。今回も和気藹々とした楽しい会となりました。

白原早織(平11年人間科学)